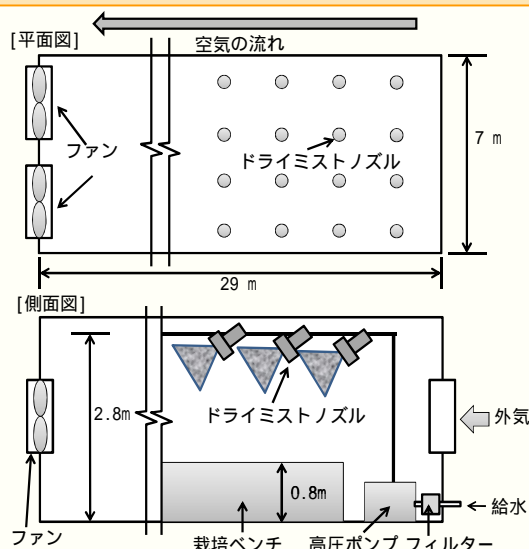
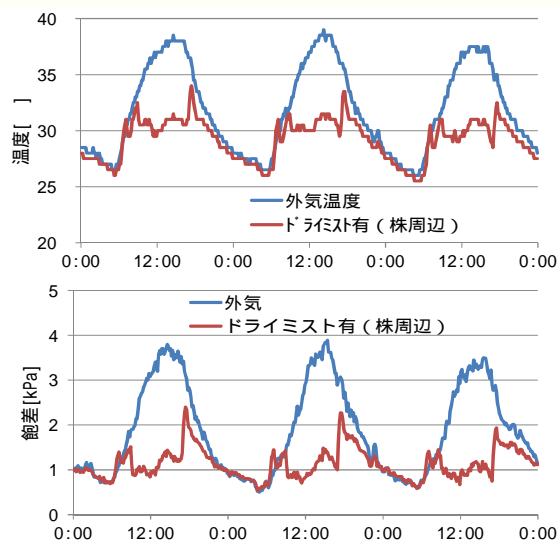


ドライミストと根圏冷却栽培システムでバラの品質向上が可能となります

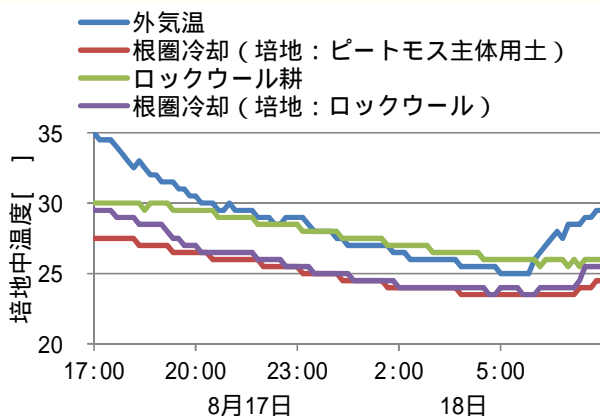
近年の夏期の異常な高温は施設園芸における周年安定生産を妨げています。バラにおいても、夏期は地温の上昇により根の活性が下がり、樹勢の低下を招いています。そこで、改良型高圧細霧冷房である超微粒ミスト（ドライミスト）と、不織布により培地を覆い、気化熱を利用して根圏を冷却する栽培ベンチ（根圏冷却栽培システム）を組合せて夏期の降温効果を検討しました。



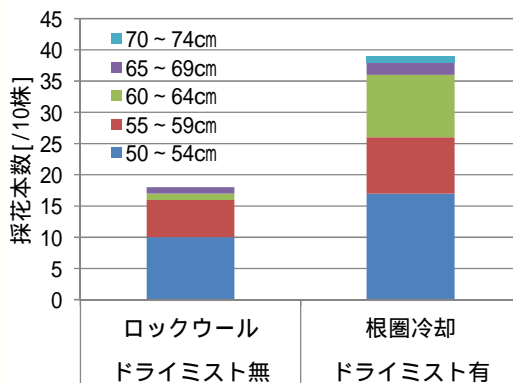
ドライミスト設置温室概要図



温度、飽差の推移 (2010/7/23-25)



夜間の根域温度の推移



切花収量への影響

(研究成果)

- ・ドライミストは、パッド&ファン冷房と同等以上の降温効果が得られます。また、局所冷房も可能であり、局部的には外気温より6℃以上低下させることができます。
- ・ドライミストの停止時間帯である夜間については、根圏冷却栽培システムの気化熱効果により、培地中温度を下げるすることができます。
- ・ドライミストと根圏冷却栽培システムとの組み合わせにより、夏期高温時での切り花品質を向上することができます。